

令和5年第11回（11月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和5年11月16日（木曜日） 14時30分 開会

2 場 所 山陽小野田市役所 第2別館会議室2

3 出席委員 教 育 長 長 友 義 彦 職務代理者 砂 川 功
委 員 竹 田 佳 枝 委 員 中 村 眞 也
委 員 末 永 育 恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	藤 山 雅 之	教育総務課長	浅 川 縁
学校教育課長	長谷川 裕 司	社会教育課長補佐	安 藤 知 恵
埴生幼稚園長	桶 谷 美 和	学校給食センター所長	和 田 英 樹
中央図書館長兼厚狭図書館長	山 本 安 彦	歴史民俗資料館長	若 山 さやか
小学校長会長	下 瀬 昌 巳	中学校長会長	山 本 時 弘
書 記	野 原 嵩 恵		

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) 議 事

① 報告第10号 第1回山陽小野田市社会教育委員会議の結果について (社会教育課)

② 報告第11号 第1回山陽小野田市文化財審議会の結果について (社会教育課)

(6) その他

① 県費負担教職員の人事について (学校教育課)

② 市職員の人事について (教育総務課)

③ その他

(7) 閉 会

開 会

○長友教育長

それでは定刻になりましたので、山陽小野田市教育委員会会議規則による11月の定例教育委員会会議を開催いたします。

本日は委員全員ご出席ですので、会議が成立していることをご報告いたします。

会議録署名委員の指名

○長友教育長

会議録署名委員の指名をいたします。竹田委員、中村委員よろしく願いたします。

会議非公開の決定

○長友教育長

本日の議事日程の中の「6. その他」の「県費負担教職員の人事について」及び「市職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められるため、非公開にしたいと思います。これに賛成される方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

ありがとうございます。全員賛成と認めます。それではレジュメに沿って進めます。

各課・館業務の報告

○長友教育長

まず報告事項に入ります。私から報告させていただきます。

私からは本年度実施されております、小学校の周年行事についてご報告いたします。新型コロナウイルス感染症も5類に移行したことから、関係学校において周年行事が実施されております。本年度は高千帆小学校・厚狭小学校の150周年、有帆小学校・高泊小学校の70周年、埴生幼稚園の開園50周年となります。高千帆小や厚狭小は明治5年の学制の交付に基づき明治6年に設立されました。有帆小と高泊小は昭和28年に、高千帆小学校から分離独立して開校したものとなります。埴生幼稚園は昭和48年に園舎が建築されました。なお、市内中学校は昭和22年施行の学校教育法によって設立されております。周年行事に出席いたしますと地域の方々の思いに触れるほか、延々と続く歴史を感じることができます。どの学校もコミュニティスクールに指定されていることから、近年は地域・学校・家庭が連携した教育活動が進められております。そうしたことから子ども達の発表の中にも、地域の方々への感謝の言葉が多数ありました。このような周年行事等を契機

として参加された地域の方々や保護者は、地域の子どもは地域で育てるという思いをより強くされたように感じます。教育委員会といたしましても、こうした教育活動をしっかりと支援していきたいと感じたところです。先月にも申したことですが、11月は地域交流センターが主催する行事や地域団体が主催するお祭りも多数実施されております。そうした行事等に中学生が積極的に参加・参画しています。地域の行事を自分事として考える中学生が増えてきたことに嬉しく思っているところでございます。

以上で私からの報告を終わります。

それでは各課からの報告をお願いいたします。藤山部長、お願いします。

○藤山教育部長

はい。特にありません。

○長友教育長

はい。続きまして今日は矢野教育次長兼社会教育課長の代わりに安藤課長補佐が出席されております。安藤課長補佐、お願いします。

○安藤社会教育課長補佐

はい。社会教育課から3件ご報告いたします。

まず1件目は山口県公民館報コンクールで優良賞の受賞がございました。県公民館連合会主催の令和5年度山口県公民館報コンクールにおいて有帆地域交流センターの広報誌「ふるさと通信ありほ」が優良賞を受賞いたしました。公民館から通算して5年連続での受賞となっております。この「ふるさと通信ありほ」は広報作成委員として地域住民が参画をしていること、センター主催事業だけでなく有帆小学校や地域の行事、歴史を掲載していること、また地域の様々な人物を取り上げる内容となっていることなど、多くの方に読まれる工夫がされていることが評価され、この度の受賞となりました。

2点目は古式行事の披露についてです。古式行事は山陽小野田市唯一の市指定無形民俗文化財です。11月12日厚狭の秋まつりにおいて4年ぶりに古式行事の披露をいたしました。披露の2週間前から出演者の皆さんは練習に励み、当日を迎えました。また地元からは厚狭中学生や厚狭高校生もお祭りに参加をしていただいております。伝統行事を守り伝えていくためには、後継者不足や衣装や道具の更新など様々な課題があります。関わる方がこれらを認識して今後の活動に取り組む必要があると考えております。

3点目です。「生涯学習フェスタ」の開催についてです。11月26日(日)に山陽小野田市民館で9時30分から12時30分、午前中に生涯学習フェスタが開催されます。この生涯学習フェスタは連合女性会が企画・運営し、市内の各地域交流センター等で生涯学習に励んでいる各クラブの方々がステージ発表や作品展示など日頃の成果を発表される場となっております。

以上3点、社会教育課からの報告でございました。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はありませんか。よろしいですか。

それでは浅川教育総務課長、お願いします。

○浅川教育総務課長

はい。教育総務課からは2点ご報告させていただきます。

1点目は、寄附採納の報告です。別紙の寄附採納一覧表をご覧ください。今回は1件で、地域活動おのだT・C様から、高千帆小学校へ児童の教育活動充実のため、児童用図書26冊と学校放送

用移動式スピーカー及びスタンダー式2台の寄付がありました。

次に2点目が共催後援の報告です。別紙共催後援一覧をご覧ください。この1か月間、教育委員会が共催後援を承諾した行事等の一覧となりますので、ご覧いただければと思います。

教育総務課からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はありませんか。よろしいですか。

それでは長谷川学校教育課長、お願いします。

○長谷川学校教育課長

はい。学校教育課からご報告いたします。

まずはインフルエンザについてです。10月はひと月で700名を超える非常に多くの罹患者がありました。11月は本日までに163名と感染が収まりつつあります。しかしながらこれから寒さが増し、本来の蔓延期に入りますので、各学校での感染予防対策を呼び掛けてまいります。対して新型コロナウイルス感染症につきましては今月に入りまして4名と、比較的落ち着いている状況でございます。

続いて文化祭についてです。10月28日(土)に中学校6校と小中一貫校である厚陽小、埴生小において実施されました。当日はとても天気が良く、多くの保護者・地域の方が訪れ、どの学校もとても盛況でした。各学校では生徒たちが美術の時間に作成したデザイン画や、家庭科の時間に作成した衣服など力作が展示され、保護者さんたちが熱心に見ておられました。ステージでは英語弁論やオーストラリアへの海外派遣の報告、合唱コンクールで入賞した学級の発表、体育で創作したダンスなど生徒が学んできた成果を披露しておりました。小学生も合奏や総合的な学習の時間に地域のことを調べた成果など、堂々と発表しておりました。

次に中学校進路説明会についてです。中学校の進路説明会を昨年と同様に校長から保護者に対して行っております。昨年度から私立高校や国立高専などでウェブでの出願が始まりました。そのため中学校校長会と教頭会で手続きに関する要綱を定めると共に、書類については学校体制で十分確認を行い遺漏なく手続きを進めることとしています。

次に子どもたちの活躍の状況をお伝えします。まず第22回全国中学校創造ものづくり教育フェア生徒作品コンクールの部で小野田中学校3年生の俵優奈さんがチャイナドレス風の上着とフリルのスカートを組み合わせて作った「ふりふりチャイナ」が上位から二番目の特許庁長官賞を受賞いたしました。また宇部市山陽小野田市の消防が主催している中学校防火防災作文においても2名が教育長賞と消防長賞に入賞しております。市内での防災標語・俳句など様々なコンクールにおいても素晴らしい作品・力作が応募されました。今後も様々な活躍を期待しておるところでございます。

以上で学校教育課からの報告を終わります。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はありませんか。

○砂川委員

はい。

○長友教育長

はい。

○砂川委員

学校医から今日はひとこと言わせていただきたいのですが、インフルエンザの流行がずっと続い

ています。去年の5月8日にコロナが5類に移行して、半年は過ぎたと思います。個人個人がやはりもう少し自覚をもって、生徒も先生方も手洗い・うがい・マスクそれと換気、そういう基本的なところでそれぞれが意識を持つことによって自分を守らないといけないと思います。もう一度コロナの時のように厳しい社会を思い出して、あの時があったからこそコロナが何とかここまで追い込むことができるようになったのですから、それに負けないように、インフルエンザといえども決して油断なさらぬようにもう一度、長谷川学校教育課長、先生方にご指導いただけたらと思います。

○長谷川学校教育課長

はい。

○砂川委員

やはりマスクは必要な時はした方がいいです。それだけでもかなり違うと思います。それと手洗い、その三つはぜひ心がけてください。また機会がありましたら先生方へのご指導をよろしく願います。

○長谷川学校教育課長

はい。ありがとうございます。感染予防対策をしっかり学校に呼び掛けてまいります。

○長友教育長

はい。今日は小学校長会長も中学校長会長もいらっしゃいますので、また校長会で課長も呼び掛けると思います、それ以外の場所でもしっかり呼び掛けていただきたいと思います。

その他何かございますか。

はい、続きまして桶谷埴生幼稚園長、願います。

○桶谷埴生幼稚園長

はい。埴生幼稚園です。よろしくお願いいたします。

園の様子を4点ご報告いたします。

今月より持久走を開始しております。2月まで毎日実施します。初めはトラックを走り、年齢や体力を見ながら少しずつ距離を延ばしていきます。持久走を毎日続けることで、強い体・強い心を作り、元気に冬を乗り越えていきたいと思っております。

次に親子遠足についてです。11月8日に親子遠足で小月自衛隊基地を見学しました。管制塔や化学消防車ストライカーの見学、訓練飛行用の飛行機に乗ったり制服を着たり、子ども達にとって初めて体験することばかりでした。特にホワイトアローズのアクロバット飛行の見学は保護者も興奮しながら見学している姿がとても印象的で、飛行中の迫力と美しさに歓声を上げ、息をのむような時間を過ごしました。いつも戸外遊びの時に空を見上げて手を振っていた飛行機ですが、「大きくなったらパイロットになる」と、これまでよりもっと親近感を持ちながら手を振っている子ども達です。

続いて埴生ふれあい文化祭についてです。11月12日(日)に埴生地域交流センターにおいて、埴生ふれあい文化祭が行われました。埴生幼稚園からは共同作品、そしてステージ発表に参加しました。ステージ発表では少し緊張していましたが、温かい拍手をもらい、地域の方に笑顔と元気をお届けできたように思います。地域行事に参加し、少人数ならではのホッと温かさを感じられる幼稚園であり、子どもの居場所となる地域の幼稚園でありたいと、改めて感じました。

最後に来週末25日(土)に保育発表会を予定しております。今回は観客の人数制限なく行う予定ですが、今お話がありましたように感染予防対策には十分注意して行いたいと思っております。

幼稚園からは以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

はい、それでは和田学校給食センター所長、お願いします。

○和田学校給食センター所長

はい。学校給食センターです。よろしくお願いします。

11月5日は「津波防災の日」ということもあり、11月1日（水）に学校給食に非常食を提供いたしました。これは毎年この時期に行っていますが、今年は「救急コーンポタージュ」を提供いたしました。本来は過熱しなくても食べられるものですが、給食では食べやすいように湯煎し、温かい状態で提供いたしました。また、今月21日は「やまぐち郷土料理の日」として、「鯨の南蛮煮」の提供の予定をしております。

なお、学校給食につきましては、特段の支障なく提供できております。

学校給食センターからは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

続きまして山本中央図書館長兼厚狭図書館長、お願いします。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

はい。図書館からご報告申し上げます。資料をご覧いただけたらと思います。

中央図書館《10月・11月行事報告》の中で、11月は特に図書館フェスティバル月間と位置付けて、色々な行事が行われております。11月5日「古本朝市」「声で楽しむ詩のひろば」「持ちより本カフェ×w a k a y a m a 読書部推し本ライブ！」を開催しました。

《11月・12月行事予定》で、18日（土）に「金子みすゞ生誕120年 ちひろコンサート～明るいほうへ～」を行います。そして26日（日）が「図書館フェスティバル」の本番です。これはチラシを別添で付けておりますので、それをご覧いただければと思いますが、今回初めて「障がい者と共に」というテーマを設けさせていただきました。この中では北永健人君の「折り紙ワークショップ」、オープニングでは有帆小学校の児童による旗振りパフォーマンス、そして鈴木悠心さんによるコンテンポラリーダンスなどが行われます。山口東京理科大学の学生による科学遊びや、厚狭高等学校の服飾作品の展示、小野田工業高校の部活であるメカトロ部による催物など、色々なメニューをご用意しています。一日楽しめる内容になっておりますので、ぜひご参加いただけたらと思います。

そして12月ですが、12月3日（日）に「西日本図書館学会山口県支部第46回研究発表会」が中央図書館で行われます。これは三つの発表からなるのですが、そのうち二つが中央図書館と厚狭図書館の事例の発表ということになっております。

次に厚狭図書館です。厚狭図書館では12月2日『歴史講座「藤原道長と紫式部」』を開催いたします。講師は下関の歴史博物館の岡松先生で、内容が来年のNHKの大河ドラマ「紫式部」ということなのでそれにちなんだ講演をしていただくことにしております。

図書館からは以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

○砂川委員

はい。

○長友教育長

はい。

○砂川委員

山本館長に一度お聞きしたかったのですが、最近電子図書が進んでたくさん子ども達が電子図書を利用していることを新聞で読んで、その利用率の高さには館長の努力が実っているなど感心しました。実は私は仕事の関係で書類を書く機会が非常に多いもので、これは隣の中村委員も以前言われたことなのですが、物を書く時に言葉が分からないというか漢字が分からない。常に辞書を引きながら原稿を書かなければいけないという状況が、私個人の場合だんだんひどくなっています。電子図書とかIT関係のこととか非常に大切に、今後力を入れていくような社会だと思うのですが、物を書く、紙に書くという文化、そういう文化に対して図書館長はどのように考えられているのか、図書館長に一度聞いてみたいなと思っていました。分かる範囲で、分かりやすく教えてください。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

紙の文化と電子の文化は両方とも必要だと考えております。それこそパソコンが普及し始めて自動変換され、漢字を書く時に「あれはどうだったかな」というのは昔から起こっているような気がします。特に小さい子、小学生というのは紙に書くということが大事なことでないかなと思います。そうしないと手で覚えられないですよ。それはとても大事なことであろうと思いますけれども、電子の世界もこれから避けて通れないので、両方が大事なことじゃないかなと考えております。

○長友教育長

小学校長会長、どうでしょうか。たしか本を読む時に紙と電子の使い分けというところで、学校でも考えられていると聞いたと思うのですが。

○下瀬小学校長会長

やはり低学年は書くということがすごく大事なことだと思います。朝のモジュールで漢字の書き順を空書きしながら字を書いていく、これは低学年の時に特に鉛筆の硬筆をするというのは大事なことだと思います。文章を書いていく時に、タブレットがあるので簡単に書けます。しかも高学年の子どもに言わせると消し書きが簡単なので、タブレットの方がやりやすいという利点があるようなことは実感として持っています。両方とも必要ですし、今からタブレット等の電子媒体に触れてそれを活用するという事は避けて通れないと思いますので、両方ともしっかり指導しているという状況です。

○長友教育長

よろしいですか。

○砂川委員

よくわかっているのですが、なかなか・・・中村委員、この前ひとこと言っていたじゃないですか。

○中村委員

学校でも行事があったら作文を書かせるじゃないですか。先生がきちんと添削してそういうことを繰り返してやっていただけたらと思います。

○長友教育長

末永委員、どうですか。

○末永委員

両方必要だと思います。基礎的なものを身に付けさせるためには、やはりこれまでのとおり紙に書いたり紙を読んだりというのが必要かなと思いますけれども、今の子ども達が過ごしている学校や社会を考えると、やはりタブレットとかというのは切り離せない環境になっているので、そちらもできなければいけない。テストとかも今ではそれでやったりするようになってきているので、それが使えないとテストの問題が分かっても答えられないという状況になってきているので、どちらも必要ということで今教育現場は動いているのかな、というのを色々なところで感じていますし、保護者としてもどちらも必要。だけど、健康被害というのがありますし、視力のことだったり姿勢のことだったりというのにも気になります。どちらも上手に付き合っ欲しいというのが保護者としてすごく感じます。どうでしょうか。

○砂川委員

それができない・・・

○長友教育長

竹田委員。

○竹田委員

みなさんと一緒なのですが、小学生は鉛筆を使うように指導されていると思います。中学生になったらシャープペンシルになって非常に小さな字になってきますね。小学生であれだけの字を書いていた子が、中学生になって字が小さくなって薄くなって。きちんとできている子というのは字がきちんと書けていて、テストの答案用紙もきちんと書けているという、イコールの面があるのではないかなと思っているので、中学生にも私は鉛筆を使って欲しいと。業界の者ではありませんが、それは大事なことはないかな、と私はちょっと希望しています。

○長友教育長

山本校長先生、どうでしょう。

○山本中学校長会長

はい、そうですね。確かに鉛筆を使っている中学生というのはほとんど今見かけないですね。美術の授業の時には鉛筆を使うぐらいですけれども。それと本校は漢字検定を毎年受検させていますが、漢字も実を言うと歴史的には漢字廃止論が戦後にありましたよね。ただ漢字を廃止していった多くの国、例えば朝鮮半島の国とか。でもそれをGHQが進めた時に日本は無視をしましたね。それは識字率が高かったからです。漢字の文化というか表意文字といったことを中学校の授業の中で触れながら、漢字の良さとかそういったものに興味関心を持ってくれたらなというふうに思っています。以上です。

○長友教育長

はい。デジタルか紙かという話からだいぶ広がりましたが。それぞれの良さというのがありますし、必要性というのがありますし。学校の教育現場では色々と考えながら使用されているというのがよく分かりました。また引き続きそういったところも先生方と話し合いながら進めていただけたらと思います。

それでは若山歴史民俗資料館長、お願いいたします。

○若山歴史民俗資料館長

はい。歴史民俗資料館からご報告いたします。資料を付けておりますので、そちらもご覧ください。

先月お配りしました企画展「古文書にみる惣社八幡宮」が始まりました。関連する厚狭毛利家文

書なども展示しておりまして、地域の歴史が学べるようにしております。理解を深めていただけるように解説シートですとか、「古文書解読シート」を無料で配布してチャレンジしていただいているところです。すでに来ていただいた方にも今度の25日にギャラリートークを開催するのですが、「そちらにもまた来よう」という声をいただいております。

次に今日の午前中ですが、小野田中学校1年生がふるさと学習に来館しました。笠井順八について調べたいということで、学芸員の説明を熱心に聞いていました。身近なところから歴史や文化財に興味を広げていってくれたら、と思いました。

次に「図書館フェスティバル」に歴史民俗資料館も毎年参加させていただいております。子ども達が多数来館します。資料館に親しみを持ってもらえる機会となりますので、展示を見たらわかるクイズをする予定にしています。

今後のその他の予定につきましては資料にあるとおりとなっております。

資料館からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。よろしいですか。

それでは小学校長会長、お願いします。

○下瀬小学校長会長

はい。小学校長会長から3点、ご報告いたします。

1点目は学校の教育活動についてです。2学期も半分以上経過し、残り三分の一程度になりました。10月に比べ気温も大幅に下がり、学校でも多様な活動を実施しています。またコロナで縮小していた行事も見直し、これまで慣例化していた教育活動も工夫・改善して行っております。11月の中旬に各学校で行われた学習発表会では、各校とも学校の特色や趣旨に応じて開催しており、保護者の皆様や地域の皆様の参加も多数ありました。今年度は周年事業があった学校もあり、コロナ前の状況に戻りつつあります。教育長様にもご出席いただき、そして教育委員会の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

現在は持久走に向けて練習を重ねている学校も多く、大会のあり方も工夫して行っています。本校では朝に自主練習、それから体育の時間、中間休みなど自分の記録を伸ばそうと一生懸命走っています。また、本日は消防署の出前授業を3年生で行いました。市の様々な出前授業をたくさん行っているところです。

2点目は小中連携についてです。中学校区では毎月校長ミーティングを1回ずつ行っております。高千帆中学校区では教頭先生がリーダーとなり、生徒指導や教務主任、学力向上担当などのミーティングなども実施しております。11月14日には6年生のふれあい体験学習が高千帆中学校で行われました。校長先生による学校説明、生徒会による行事の説明、授業見学、部活動見学など多くのことを体験しております。早く中学生になりたいという期待の気持ちとどんな生活になるだろうかという不安な気持ちが入り交じりながら、興味津々で真剣に見学していました。

3点目は小学校長会長秋季研修大会についてです。10月27日に秋季研修大会が長門市のルネッサながとを中心に行われました。昨年に引き続き集合型の研修会でした。県教育庁審議官、長門市長様の挨拶の後、湯谷湾温泉ホテル楊貴館 取締役 岡藤明史様から「未来を生き抜く地域共創の形～高まる明日を描く四代目の挑戦～」と題して講演をいただきました。市内の校長からも高い評価があって勇気をもって頑張りたいという言葉がありました。午後からは分科会となり山陽小野田市部は2年目の地域との連携・協働について研究発表を行いました。指導していただいたことを基

に、研究を継続して来年度中国大会・全国大会の発表へ備えたいと思っています。

以上小学校長会からの報告でした。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。よろしいですか。

(「はい」という声あり)

それでは中学校長会長、お願いします。

○山本中学校長会長

はい。先月末から今日までの状況と3点についてご報告いたします。

1点目は先ほど学校教育課長からもお話がありましたが、先月28日(土)に市内中学校が実施した文化祭についてです。昨年度まで学校規模に応じて感染症対策で参観者数を制限して実施しておりましたが、今年度は本校も参観者の制限をなくして実施しました。保護者席を300席余り準備しましたが、満席となる状況でした。どの学校も3年生を中心に文化祭実行委員会や生徒会が主体的に企画し、エネルギッシュなパフォーマンスを披露しています。全校生徒が感動を共にしたり達成感を味わったりする中で、また一回り成長した生徒達の姿を実感しております。また、今月10日(金)には午前中に不二輸送機ホールで開催した、市中学校音楽会では各校の合唱コンクールで最優秀を獲得した6クラスが発表しています。各校の吹奏楽部も演奏を披露しました。地域・保護者の方で満席になる盛況ぶりでした。ホールの所長さんも喜んでおられました。これも教育委員会が子どもの搬送、バスの予算を組んでいただき提供していただいたおかげです。引き続きお願いできたらと思います。

2点目は3年生の進路確定に向けた取組についてです。課長からお話がありましたが、今月中で全中学校で生徒・保護者を対象とした進路説明会を実施します。月末には3年生は進路三者懇談において、それぞれの進路、受験校を確定します。また、地域団体の方々のご協力を得て地域の方が面接官になって面接指導を行っている学校もあります。今年から年内に推薦入学試験を実施する私立高等学校があり、来月には私立高等学校の受験手続が始まります。初めて受験する生徒達には目標を定めてから、あれこれと神経を使わずに、今やるべきことを着実に取り組むことが目標達成への道であると諭して、不安を感じながらも取り組んでいる3年生を支援しているところです。そして、教育委員さんからお話がありましたインフルエンザについても受験生は危機感をもって対応しています。引き続き感染症対策、ご指導ありましたことを推進してまいりたいと思っています。

3点目は3年生の受験に向けた準備が進められる中で、新生徒会発足に向けて生徒会役員の立候補を募り、準備を進めている生徒会活動についてです。選挙運動や放送によるマニフェストの表明、投票日における立会演説会の実施、今年も市選挙管理委員会から投票箱等を借用して投票を行います。国政や市政選挙さながらのものにして疑似体験することで、リーダーとなる代表者を選ぶ選挙の意義、大切さなど主権者教育を進めながら実施してまいりたいと考えております。

最後に今月どの中学校でも期末テストを実施します。それぞれの計画を基に着実に取り組み、学習面でも成果を上げて2023年を締めくくることを期待しています。

以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

最後に期末試験が始まるということで、どの学校もその直前の1、2週間は部活動を停止して、併せてメディアコントロールとかそうした取組をされるのですか。

○山本中学校長会長

小中で、高千帆について試験中は、昨年度からは家庭読書週間ということで、家庭での小学校の読書で協力していただいております。メディアコントロールですが、子ども達は計画を基に実施するようにしています。

○長友教育長

はい。ぜひ部活がない時間をどう使うか、自分で計画を立てたタイムマネジメントの力を中学生にはぜひつけさせていたいただきたいですし、小学生も同様に取り組むことによって時間を大切に使う、何を今しなければならぬか、についてもぜひ考えさせる取組をお願いしたいと思います。

はい、それではよろしいですか。

次回の会議日程

○長友教育長

それでは次回会議日程について、教育総務課長よろしく申し上げます。

○浅川教育総務課長

12月の定例会議の日時と場所をお決めいただきたいと思います。事務局からは、12月21日（木）午後2時から、市役所第2別館会議室2、こちらの部屋で行う案でお諮りします。

○長友教育長

はい。皆様よろしいでしょうか。

はい、次回は12月21日（木）14時からということをお願いいたします。それでは前半を終了いたします。どうもお疲れ様でした。

15時11分休憩

15時13分再開

報告第10号 第1回山陽小野田市社会教育委員会議の結果について

○長友教育長

それでは議事に移ります。報告第10号「第1回山陽小野田市社会教育委員会議の結果について」の説明を、事務局申し上げます。

○安藤社会教育課長補佐

社会教育課安藤と申します。報告第10号「第1回山陽小野田市社会教育委員会議の結果について」ご報告いたします。

資料の3ページをご覧ください。令和5年8月22日、令和5年度第1回社会教育委員会議を開催いたしました。出席委員は12名、欠席委員は2名です。今年度は改選の年に当たっており、委嘱又は任命後初の会議であったことから、冒頭は社会教育委員の職務や役割、令和4年度の協議内容などの振り返りを行い、教育委員会の組織等について説明をいたしました。その後、社会教育関

連事業として、令和5年度の社会教育推進の指針、令和5年度の予算概要等について説明をいたしました。委員からは青少年健全育成費の減額の理由や青少年育成センターの活性化、歴史民俗資料館の入館者について中高生へのアプローチの必要性、青年の家の今後の展望などについての質問や意見があり、それぞれ回答いたしております。議題（４）の「公民館の地域交流センター化後の実際」につきましては、令和3年度に社会教育委員会議でまとめられた提言書にある4つの柱に沿って、センターの現況等を説明いたしました。委員からはセンター化後の社会教育や生涯学習の衰退が懸念されていましたが、問題なく以前と変わらず実施できているといった意見がございました。また、「センター利用者の減少理由は」との問いに、メンバーの固定化とそのメンバーの高齢化が考えられる、若い世代や高齢男性など、これまであまり多くなかった世代へのアプローチを積極的に行い、現状維持に持っていきたい、と回答いたしました。また働いている世代はなかなか時間を取ることが難しい、センターでの講座とは違う切り口で、隙間時間でも参加できるような事業を展開してはどうか、というご意見もあり、またセンターと児童館が連携して子育てカフェを実施していきたいなどという意見もありました。終盤にはきらら交流館の整備や今後のスケジュールなどを説明し、会議を閉じました。

以上報告でございました。

○長友教育長

はい。この件につきましてご意見ご質問等はございましたらお願いします。

○中村委員

はい。

○長友教育長

はい、中村委員。

○中村委員

地域交流センターで職員が増えているところもあると聞きますが、これは社会教育課が担当しているわけではないのですか。市民活動推進課が・・・担当しているのですかね。

○安藤社会教育課長補佐

はい、市民活動推進課の方が担当しております。社会教育課は生涯学習の件での対応をしております。

○中村委員

はい。そうですね。

○長友教育長

よろしいですか。

○中村委員

はい。

○長友教育長

その他ございますか。はい。それでは採決に移ります。報告第10号「第1回山陽小野田市社会教育委員会議の結果について」を原案どおり決することにご異議はございませんか。賛成いただける方の挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

はい。賛成多数により可決されました。

報告第11号 第1回山陽小野田市文化財審議会の結果について

○長友教育長

次に、報告第11号「第1回山陽小野田市文化財審議会の結果について」事務局、説明をお願いします。

○安藤社会教育課長補佐

はい。それでは報告第11号「第1回山陽小野田市文化財審議会の結果について」ご報告いたします。7月28日に第1回文化財審議会を開催いたしました。委員は6名全員が出席し、今回改選後初めての会議となりますので辞令交付、会長・副会長の選出を行いました。今回の会議の内容は市内の指定文化財の現状について説明し、次回の文化財審議会で「糸根の松原」の指定範囲について諮問する予定があることを伝えました。また、国史跡「周防灘干拓遺跡高泊開作浜五挺唐樋」について、保存活用計画策定業務の中で文献資料の調査を進めており、その調査成果を報告いたしました。協議の後は国史跡の浜五挺唐樋と国指定需要文化財の「旧小野田セメント製造株式会社竪窯」徳利窯について現地視察を行いました。

以上で報告を終わります。

○長友教育長

はい。この件に関しましてご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

それでは私の方から。国指定重要文化財のいわゆる徳利窯について、今の様子と課題があれば教えてください。

○安藤社会教育課長補佐

はい。現状徳利窯が表面のセメント剥離が進んでおり、痛みがかなり進んでおります。その進んでいる箇所が製造された当初のものが現存している箇所なので、明治時代からある大変貴重なものとなっております。専門的な方からのご意見をいただきながら、今の所有がセメント会社になりますので、所有者様とも協議を進めているところです。

○長友教育長

はい。ありがとうございます。

その他よろしいですか。それでは採決いたします。報告第11号「第1回山陽小野田市文化財審議会の結果について」を原案どおり決することにご異議はございませんか。賛成いただける方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

はい。賛成多数により可決されました。

その他

県費負担教職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

市職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

その他

○長友教育長

次に（3）その他ですが、何かございますか。よろしいですか。

閉 会

○長友教育長

それではこれで本日予定しておりました議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆さん、大変お疲れさまでした。

15時23分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名する。

令和5年 11月 16日

教 育 長

印

署 名 委 員

印

署 名 委 員

印

会議録を調製した職員

印